

白井市もついに超高齢社会？

白井市も高齢化率(65歳以上)が21.2%となり、ついに超高齢社会(※)に突入しました。しかし、寿命が延びるということは大変喜ばしいことであり、歓迎すべきものです。問題はできるだけ健康寿命を延ばして、医療費・介護費の削減を図っていくことです。

ちょっと待った！ 現代社会で65歳以上が高齢者といえるの？

明治時代の平均寿命は約39歳、大正時代が約43歳で、はじめて50歳を超えたのは昭和22年になってからです。現在の男女合わせた平均寿命は約83歳で、100歳以上の「百寿者」は全国で5万人を超えています。それを考えると、65歳以上が老人(高齢者)という考え方は実態を反映していません。

世界保健機構(WHO)は、65歳以上を高齢者と定義付け、それに倣って日本も65歳以上を高齢者として昭和38年に老人福祉法を制定しています。しかし寿命の延びた現在は75歳以上の後期高齢者が老人と捉えるべきであり、後期高齢化率が真の高齢化率と考えるべきでしょう。

とはいっても、団塊の世代が75歳以上になる平成37年(いわゆる2025年問題)へ向けての取り組みは必要です。少子化が進む中で、元気な高齢者に支えてもらう施策が必要です。リタイアされた高齢者に社会参加を促し、地域デビューができる環境を整え、地域の担い手になっていただくための取り組みが求められます。

本来高齢社会は豊かな社会です。高齢社会は昼間人口が増え街が賑やかとなり活性化されます。要はご高齢の方には家の中に閉じ籠らないで、街に繰り出してもらうことです。そのための街づくりを整備しなければなりません。例えば高齢者が集える場所、遊べる処、美味しいものが味わえるお店、使いやすい施設や憩いの場所など、安心して暮らし楽しんでいただける街への取り組みが必要だと考えます。



平成	元年	5年	10年	15年	20年	25年	26年	37年
人口	36,099	41,810	50,338	51,936	58,659	62,386	62,537	65,100
高齢化率	5.8%	6.8	8.2	11.7	15.4	20.1	21.2	30.6
後期高齢化率	2.1%	2.6	3.0	4.3	5.4	7.3	7.7	18.3

※高齢化率14%超⇒高齢社会
21%超⇒超高齢社会

各年4月1日現在
26年は2月末日 37年は推測値

北総線運賃裁判は最高裁へ！

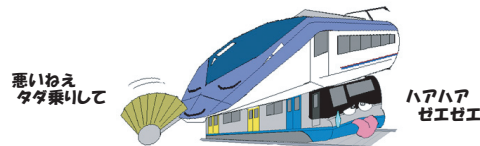
2月19日、東京高裁で「京成ただ乗り訴訟」の二審判決が下されました。一審で認められた北総線に対する原告適格が京成にまで拡大して認められました。しかし、争いの中で最も重要な京成・北総間の不当な線路使用条件に関しては原告適格が認められず、高運賃も違法とまではいえないとして棄却されました。

この裁判は、2010年に開業した京成電鉄成田空港線(成田スカイアクセス)運賃認可は、空港利用者の低運賃設定が北総線利用者の高運賃に転嫁されているとして国を相手に提訴したものです。

原告側は3月4日、この判決は法の趣旨である公共の利益を阻害しているとして最高裁に上告しました。

【北総線運賃問題を要約すると・・・】

- ・北総鉄道は14年間連続黒字経営の会社です。
- ・これまでに130億円以上の法人税を納めています。
- ・線路を親会社の京成電鉄に実質ただで貸しています。
(線路使用料はそれまで北総線を利用していた乗客がアクセス特急へ乗り替わった運賃分)
- ・実質ただで北総線に乗り入れているスカイライナーはこれまでに約240億円稼いでいます。
- ・北総鉄道は千葉NT鉄道(小室～印旛日医大)に線路使用料を約22億円(実質11億)払っています。
- ・京成電鉄は千葉NT鉄道(京成100%子会社)に線路使用料を約3億円(実質ゼロ)しか払っていません。
- ・人身事故や台風などで北総線が運休してもスカイライナーやアクセス特急は運行していました。
- ・千葉NT鉄道は登記上京成電鉄本社内にあり従業員ゼロの会社です。
- ・北総鉄道の役員は京成電鉄と国・県の天下り・渡りで占められています。
- ・北総鉄道の監査役は3人全員京成電鉄の関係者です。



岩田のりゆき出前報告会

2人以上お集まりいただければ市内どこへでも参上して議会報告をいたします。



- ビラ配り等のボランティアにご協力いただける方のご連絡をお待ちしております。
(特に南山3丁目、西白井地区大歓迎！)

- この会報は議員に支給されている政務活動費の一部
約33,000円(紙代、インク代、印刷機リース料)を使用
して作成しました。

岩田のりゆきの
SQUAREしるい